

## 「フィリピンでのボランティア体験：ストリートチルドレンのために」（高田友洋）

GMS学部4年の高田友洋さんは、フィリピンのマニラで、ストリートチルドレンへの食糧援助や教育関連のボランティア活動を2週間にわたって行ってきました。また、当初予定にはなかった現地の大学生向けボランティア活動セミナーやリーダーシップトレーニングプログラムにも参加し、そこで日本について講演も行うという大活躍でした。

以下は、高田さんにお聞きした内容です。

### **Q1. 海外研修のきっかけは何でしたか？また、なぜたくさんある候補地の中でフィリピンに行くことを決めたのですか？**

大学生の間は時間が取れるので海外へ行ってみたいかったからという理由と、学部で学んだ事をどれくらい生かせるのかを試してみたかったからという理由です。

そこで何故フィリピンを選んだかという、フィリピンは英語を話す事の出来る人がとても多く、コミュニケーションをとることが他の東南アジア諸国と比べたら難しくないかもしれないと思った事、それからゴミ山やストリートチルドレン等の貧困という現実と直視できると思ったからです。

### **Q2. 渡航前の準備として、何かしたことはありますか？**

挨拶や最低限のコミュニケーションを取れるように、現地の言葉を学びました。また、「知らないうちに失礼な事をしてしまった」という事が無いように、現地の風習を学びました。

### **Q3. 今回の研修に費やした費用は、いくらくらいですか？**

15万円前後です。

### **Q4. 現地では、どのようなところに宿泊していたのですか？ また、食事は口に合いましたか？**

宿は、現地のNGOが所有している安宿で過ごしていました。辛うじて冷房があるものの、お湯が出ない、虫が大量発生するといった宿でした。しかし、フィリピン人以外の人も多く、様々な国籍の方とお話することが出来て、とても楽しかったです！

料理の味付けは辛いものが少なく、醤油や酢を使って味付けをしているので、食事に関しての

問題は何もなかったです。ちなみに魚料理が多く肉料理は少なめで、肉料理の中では特に鶏肉を使ったものが多かったという印象を受けました。フィリピン人の方と同席していると、沢山食べるよう勧めてくるので注意が必要です(笑)。



**Q5. 現地では、どのようなスケジュールで毎日をご過ごしていたのですか？**

朝は 8 時に起床して、朝食や当日の準備を行いました。9 時にはお世話になっていた団体の施設を訪れ、現地へと職員の方と同行し、食糧の配給や子どもたちのレクリエーション等の活動を行いました。途中 1 時間ほど昼食を挟みながら、16 時ごろには施設に戻りました。

その後は自由時間だったため、団体の方と食事に行ったり、買い物へ出かけたりしました。日中の活動はハードな時もありましたので、睡眠時間はちゃんと取りました！

**Q6. 一緒にプログラムに参加した仲間には、どんな人達がいましたか？**

基本的にフィリピンの人たちは陽気で笑う事が大好きな方が多かったので、一緒に居る時はいつも笑っていました。

また、フィリピン全土の大学生が集まったリーダーシップトレーニングに参加した時に知り合った友達は、歌を歌うのが好きな人や、場を盛り上げる事が好きな人が多くて、退屈しない時間を過ごせました。



**Q7. 現地での心温まるエピソード等ありますか？**

現地の大学生の方々と参加した1泊2日のリーダーシップトレーニングにおいて、初めはゲストとして参加するというお話だったのですが、いざ当日になった時私を外国人のゲストとしてではなく参加者の1人としてプログラムに参加させてくれた事です。プログラムは基本的に現地語で進行していったのですが、私のためにわざわざ英語で説明してくれたり、グループワークの際にはグループの皆が英語で一生懸命説明してくれたりして助けてくれました。そのおかげで、皆と同じように学ぶ事が出来て、一緒だったグループの皆とは帰国後もインターネットを通じて交流するまでに仲良くなれました。



**Q8. 現地で受けたカルチャーショックは、何かありますか？**

時間にルーズ！この一言に限ります(笑)。待ち合わせの時間に遅刻してくるのは当たり前で、私が時間前に到着した事を知った時には驚かれました。

リーダーシップトレーニングの夜に学生全員が夜更かしをして次の朝に全員遅刻した時、「スタッフに怒られる」と心配していたらそのスタッフも寝坊をして、プログラムの時間帯がずれたという事もありました(笑)。しかしテレビ局でお仕事を体験させて貰った時は、社員の方々全員が時間に正確だったという印象を受けました。普段はルーズでも、やる時はしっかりやるんだなーと思いました。

**Q9. 今回の研修は、高田さんの大学生活や今後の人生においてどのように生きてくると思えますか？**

まずは、海外に出る事の恐怖心を払拭できたこと事ですね。今まで未知の世界であった海外が今回の経験を経て身近なものになったので、将来仕事で海外へ行く事になったとしても、物怖じせずに行けるようになるのではないかと思います。

さらに、外国人相手であっても自分の意思をハッキリ言える力が付いたとも言えます。今回の研修においては、天候の急な変化によりスケジュールに大きな変更が発生してしまいました。しかしその中でも、自分が何をしたいか、どのような時間なら確保できるかをしっかり説明し、現地の方と納得のいくスケジュールの打ち合わせをする事が出来ました。その結果、有意義な研修になりました

また、1から英語で資料を作成し、日本に関するプレゼンをするというチャンスにも恵まれました。これは社会に出る際に必要になってくる事なのではないかと個人的に思い、このような経験を皆より一足早く体験できたことに凄く感謝しています。

**Q10. 最後に、これから海外研修を行いたいと思っている人へのアドバイスやメッセージをお願いします。**

1人で海外に行くという事はとても抵抗があると思います。言語が違う、環境が違う、日本では当たり前だった事が通用しない…。しかし、いざ行ってみると案外どうにかなるものです。そしてそれ以上に、楽しいと思う事がたくさんあなたを待っていると思います！だから、気軽に行ける学生時代だからこそ行く価値があると私は思います。

もしも少しでも海外について興味があるのなら、是非とも短期間でも良いので渡航する事をお勧めします！そしてもし海外に行くという事になれば、あるいは行こうと思っているのなら

GMS で学ぶ英語の必修の授業に一生懸命取り組んでください。必ずしもそうしなければならないという訳ではないのですが、自分の思った事やしたい事を相手に伝えられた時の感動はひとしおです。それを学ぶには、GMS の必修の英語の授業がうってつけだと思います！是非とも基礎をしっかりと勉強すると共に、渡航先の国の文化や日本の文化について学んでみてください。きっと役立つ事と思います。これを読んでいるあなたにとって、良い海外経験が出来る事を願っています！（おわり）